

# 49 修堤碑・忠魂碑

吉備西幼稚園内（撫川1243-2）



修堤碑 明治19年（1886）

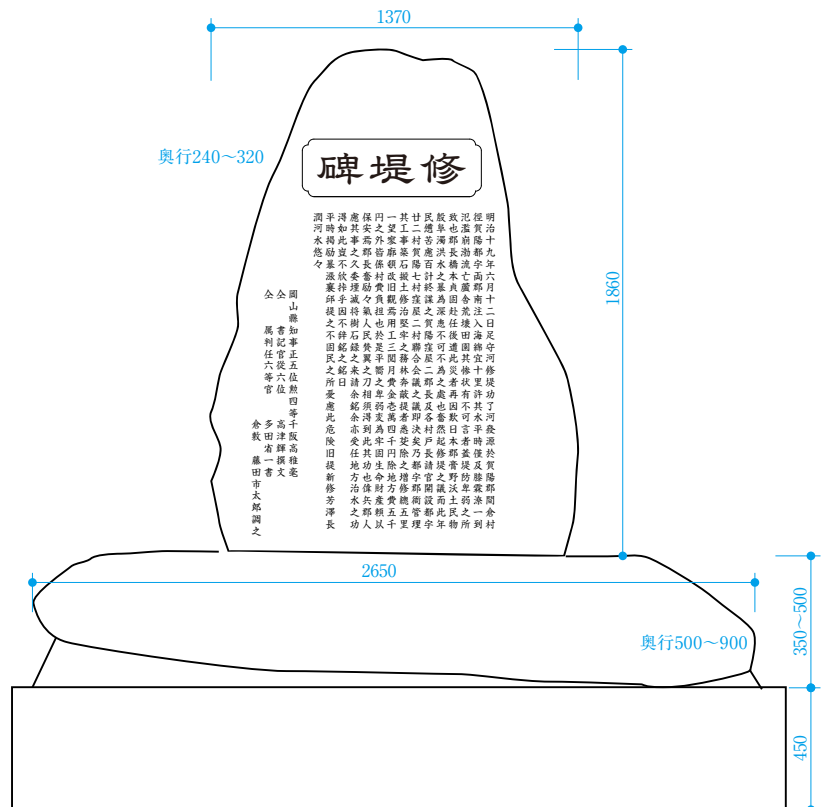
足守川の度重なる大水害と修堤工事の様子を細かく伝えている。

## 修堤碑表面（東面）原文

明治十九年六月十二日足守河修堤功了河發源於賀陽郡間倉村徑賀陽郡宇兩郡南注入海綿宜十里許其水平時僅及腰霖潦一到汎濫潮洶流亡蘆舍荒壞田園其慘狀有不可言者蓋堤防卑弱之所致也郡長橋本貞固赴任後遭此災者再因歎曰日本郡膏野沃土民物殷阜濁洪水之暴為深患不可不為之處也奮然起修堤之議而此年民體苦慮百計終謀之賀陽窪屋二郡長及各村戶長請官開設都宇廿二村賀陽七村窪屋二村聯合會議之議即決矣乃都宇郡衙管理其工事築石搬土修治堅牢之務林莽蔽提者悉焚除之增修總五里一望寥廓頓改旧觀焉用工三閱月費金壹萬四千円除地方費五千円之外皆係村費負擔也於是平嚮之卑弱變為牢固生命財產賴以保安焉郡長奮勵々氣人民贊翼之刀相須得到此其功也偉兵郡人慮其事之久委埋滅將樹石錄之來請余銘余亦受任地方治水之功得如此豈不欣乎因不辭銘之銘曰

平時揭厲暴漲襄邱提之不固民之所憂慮此危險旧堤新修芳澤長潤河水悠々

岡山縣知事正五位勲四等千坂高雅毫  
全 書記官從六位 高津輝撰文  
倉敷 藤田市太郎調之  
屬判任六等官 多田省一書





## 修堤碑裏面(西面)原文

都宇郡 窪屋郡 賀陽郡 関係戸長  
 林 庫夫  
 片山虎右衛門  
 平松朋治  
 内田泰造  
 古谷亀脈治  
 澤田龍雄  
 高尾仙作  
 太田始四郎  
 難波讓太郎  
 中西政愛  
 龍治竹太郎



## 修堤碑表面訳文 宇垣悟記(きびのさとNo.107より)

明治十九年六月十二日、足守川の堤防改修工事が終了した。足守川は源を賀陽郡間倉村(足守)から出て流れ、賀陽郡と都宇郡の両郡を経て海へ注ぐ、遠く十里(三九、二七二米)ばかりに亘り、平時は僅かであるが、霖雨となれば水は漲り、水音は高く氾濫して家屋を流し、田園は荒れ、その惨状は言語に絶する。これは堤防の卑弱によるものである。郡長(都宇)橋本貞固が赴任してその災害に遭れ、深く慨嘆した。本郡は土地肥沃し、農産物は豊富であるが、洪水のために甚だしく損害を蒙っている、深く憂へ何とか改善せねばならぬと思ひ、足守川堤防改修の議を起した。住民は毎年水禍に苦しんでいるので、賀陽、窪屋の郡長と各村の戸長に謀り、当局に要請した。都宇、二十二村と賀陽七村、窪屋二村が聯合して開かれ、会議の結果、即決した。よつて都宇郡役所(應徳寺)にあつたが工事を管理した。工事には堤防を蔽う雑木を悉く除き、石垣を築き、土砂を運搬し堅牢に改修を終わった。延長五里(五、六三六米)に及び、一望にして住民の家屋が旧観に収まった。この工事は三ヶ月を要し、費用は金壹萬四千円を要した。地方費五千円を除く外は皆関係諸村の負担である。先の卑弱な堤防は堅固となり、住民の生命財産の保安を頼するに至つた。これは郡長の奮励によるものである。郡の住民はこの事業の久しく埋滅していくことを慮り、記念碑をたててこれを録するに当たつて余に銘を請うた。余は治水の功績の威大なることに感じ、辞することはできず欣んで應じたのである。銘にいうとは前書にその状態を詳しく述べ、更に四字を綴つて何句かにわけてしめくくりをしたものである。墓地の碑文などによく見られるもので、生前の略歴を記して終わりにその人の功績を称賛した詩文である。平素は衣服を掲げて浅い瀬を渡る程度であるが、洪水になると邸にまで達する。これは堤防の堅固でないからである。住民は常に災害を憂へ、この危険を心配していたが、ここに新しく堤防の修理を終へ、恵みは長く潤い、足守川の流れは遠く続くことであらう。

## ■修堤碑の移設

昭和43年10月に新大橋架け替えに伴い、足守川東堰堤上にあつた修堤碑を現在地に移した。(写真は昭和37年ごろ)



## ■岡山歴史のまちしるべ

令和6年3月、岡山市の「岡山歴史散歩」の看板が設置された。(幅350×高さ1430mm)

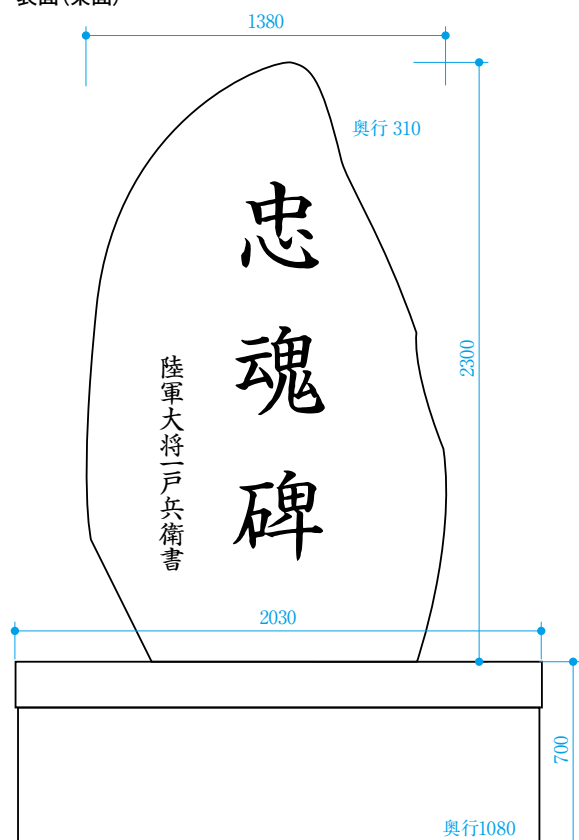




## 忠魂碑



表面(東面)



裏面(西面)

この碑は旧撫川町の下撫川、中撫川、大内田、日畑東組の勇士である。一戸兵衛は当時岡山に第十七師団が置かれていた時の師団長を勤めた人である。(きびのさとNo.39より)

昭和4年、当時の撫川尋常高等小学校の校庭に建立された。

裏面(西面)

昭和4年(1926)

|                                       |                           |  |
|---------------------------------------|---------------------------|--|
| 昭和四年四月建立<br>帝国在郷軍人会撫川町分会發起<br>大手寺下憲治朔 | 戦病死者芳名                    |  |
|                                       | 日清戦役<br>北清事变<br>日露戦役<br>同 | 陸軍砲兵上等兵 齊藤勘四郎<br>陸軍輜重隊輸卒 前田市五郎<br>陸軍歩兵上等兵 坪井竹三郎<br>陸軍歩兵一等卒 板松金次郎 |

|      |      |             |
|------|------|-------------|
| 人話世  |      | 分会長<br>副分会長 |
| 林亨平  | 三宅兵一 | 齊藤友一        |
| 吉田常夫 | 荒木岩夫 | 松永君夫        |
| 佐藤寿夫 | 石原佐平 | 河内源次        |
| 平田音市 | 鈴木魏  | 袖岡経男        |